

校長室から

学校教育目標

　　「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

　　　　　　　～進取的な努力をする人材の育成～

令和5年2月3日　第44号

ポリグロット

『20ケ国語ペラペラ』(種田輝豊　著　ちくま文庫)を読んだのです。

なんと著者は、英語をはじめドイツ語、オランダ語、スウェ－デン語、トルコ語、ペルシャ語、アラビア語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ラテン語、中国語(官語、広東語)、ハングル、ロシア語、チェコ語、ノルウェ－語、……など２０ケ国語がペラペラ。

たくさんの通訳で活躍したそうですが、いずれの国の人が言うには、「現地の人より上手に話す」とか。

どうやって語学を習得したかがこの一冊で述べられています。ノルウェ－語などは、昔日本で話せる人は、ほとんどいません。そこでノルウェ－大使館にお願いして、持ち込んだカセットテ－プにノルウェ－語で書かれた童話を読んでもらったものを録音。そしてそのテ－プを擦り切れるほど聞く。

こんなことをおっしゃっています。

「はじめて出くわす単語は、丁重に扱ってあげなければならない。これから末永くお付き合いをしていく相手だから」。「単語集から単語を覚えるのは、ムダ。むしろ、詩の暗記に向けた方がいい」。

インタ-ネットが発達し、どこの言葉でもいつでもすぐに聞ける時代。本気になれば、みなさんもポリグロットになれるはず。

ポリグロットとは、数か国語に通じている人のこと。

若い時にこの一冊に出会っていたら、私もポリグロットになれていたかも。長い間廃版だったものが復刻された一冊。

図書館coの方に図書室に置いてねとお願いしています。